

2018年第10回NS物流研究会「テーマと概要」

1	目白大学	インターネット小売が引き起こす物流問題への解決策を探る	<p>現在、スマートフォンの普及により、インターネット通販が消費者の生活の中で身近になっているが、そのことが物流業界における人手不足問題をはじめとした多くの問題を引き起こしている。人手不足については、インターネット通販の普及により、それを利用する消費者が増加している一方で、宅配業者のトラックドライバーの数が追いついていないことが問題の原因とされている。ほかにも、物流センターにおいても大量の商品を捌くために機械の導入やシステム投資が必要とされるなど、各社とも物流問題への対応に追われているのが実態だ。一方、消費者側の観点からみても、利用度が上がるほど、インターネット小売を利用する時にニーズに合わないことや宅配日時通りに来ないといった不満を持っているという声も聞こえてくる。これらの物流における問題に対し、私たちは「消費者はインターネット小売をどう利用し、物流に何を期待しているのか」を取り上げて研究していくことにした。インターネット小売の現状、企業動向を踏まえてアンケートにより、実態とのギャップを検証するというアプローチ方法で取り組み、物流企業に対し提案を試みたいと考えている。</p>
2	朝日大学	配送時の待機場所－コンビニ駐車場の有効利用について	<p>配送ドライバーが到着時間の「定時性」を守るため、納品先の近くに待機する現状が見受けられる。路上駐車は、近隣住民への迷惑や駐車違反などの問題を発生させるため、路上以外の待機場所を探す必要がある。待機場所の一つの候補が、コンビニ駐車場である。本研究では、配送時の待機場所として、コンビニ駐車場が有効かどうか、コンビニ店舗の駐車場スペースの数や大きさ等からその可能性を明らかにする。</p>
3	城西大学	埼玉物流のあるべき姿	<p>埼玉県は東京都に隣接した県として、多くのモノが流れています。しかし、活用されている土地やルートは東側ばかりです。都市圏の物流需要が増加するなか、新たに供給量を増やすことができるシステムが必要です。従って、現在ほとんど使われていない埼玉西部エリアの有効活用など新しい視点で埼玉の物流のあるべき姿を提案します。</p>
4	同志社大学	留学生の視点からみるラストワンマイル問題とその解決へのアプローチ	<p>近年、ネット通販の需要拡大とともに、宅配のラストワンマイル問題がよく取り上げられている。一方で、日本に住む留学生はこの問題についてどう思うのか？はたまた、この問題の認識に関し日本人との相違はあるのか？そこで、私たちは留学生の宅配に関する意識調査をはじめとするさまざまなデータから実証的な分析を行い、留学生の視点だからこそ発見できる問題解決へのアプローチを検討していきたい。</p>
5	東京都市大学	倉庫内作業効率化について	<p>物流の一環である倉庫において効率化は重要な経営指標であり、複数存在している。本研究は物流センターを実地調査し、倉庫管理者へのインタビューを行った。それに基づき、作業効率化は、入出荷作業を実測してフォークリフトの動線と作業を分析、実入出荷データからフォークリフトの作業時間を見積もり、作業効率を計算、さらに、シミュレーションで倉庫内レイアウトの変更により置き場の利用率を向上、の3点について検討する。</p>
6	大阪産業大学	安芸高田市 高田地区住民 買物弱者予備軍への対策	<p>本年8月に広島県安芸高田市でフィールドワークを実施した。同市は広島県の山間部に位置し、人口減少や高齢化が進行している。インタビュー調査、街頭アンケート調査などをもとに今後、買い物物が困難になるであろう「買い物弱者予備軍」の対策について考察する。</p>
7	流通科学大学	宅配ドライバーの負担軽減の取り組みに関する研究	<p>現代社会ではネット通販の普及により、多くの人々がインターネットショッピングでモノを購入するようになった。その結果、宅配量が非常に増加し、荷物を運ぶドライバーの負担が大きくなった。ますますドライバーの労働環境は悪化しており、これからの年月が経っていくにつれドライバー不足はさらに深刻化する。現状を踏まえ、この社会問題を解決するために、アンケートや調査を元にドライバーの負担を軽減する方策を探った。</p>
8	東京海洋大学	TOKYO2020～大会の成功は物流が握る～	<p>東京オリンピックが2年後に迫り、新国立競技場をはじめとした各競技施設の整備や交通機関の輸送力強化・バリアフリー対応、大会・都市ボランティアの募集など準備が進んでいる。しかし、オリンピックについては数多くの課題が指摘されており、なかでもオリンピックによって発生する交通渋滞は深刻な課題となっており、物流が滞り一般市民の生活に大きな影響を与える恐れがある。特に競技会場が集中するベイエリアゾーンには多くの物流拠点が立地することから、東京だけでなく日本全国に影響が出る恐れがある。そこで、我々はオリンピックが物流に与える影響とその対策について検討した結果を報告する。</p>
9	神奈川大学	女性ドライバーの雇用拡大につながる中継輸送による働き方改革の可能性	<p>物流業界において女性ドライバーの雇用が少なく、深刻な労働力不足を改善するには女性の雇用を拡大していくことが必要である。このためには働きやすい労働環境を作ることが重要であり、これを実現する手段として中継輸送に注目する。中継輸送を導入することによって、ドライバーの労働時間の短縮と負担軽減をはかることが可能となり、ドライバーの働き方を改善することができる。中継輸送の可能性を検討することによって、働き方改革を実現して女性ドライバーの雇用拡大につながることを明らかにする。</p>
10	北海商科大学	地域経済を支える物流の肝～全国一律(北海道・沖縄・離島を除く)	<p>北海道や九州方面を中心に長距離輸送の貢献度、あり方について～特に、北海道では、青函共用走行問題、トラックドライバーの労働時間に関する改善基準告知遵守違反に対する厳罰化などが道外移入や移入に与える影響、等々を中心に研究を進めている。今後も北海道における物流、流通戦略等について、地域を支えるリージョナル・ロジスティクスという視点から取り組む。</p>